

隊員紹介

●日本隊隊員 [関西大学探検部]




役職	名前	住所・電話番号・備考	
総指揮 ビデオ撮影	松原 保 血液型：A パスポート番号：M10100400	大阪府吹上区吹上 06-6604-0000 大阪府吹上区吹上 06-6604-0000 映像ディレクター 探検部23代OB/探検委員会メンバー	
※'79年度北米大陸1万キロカヌー縦断、'82年度アフリカ・ザイール河源流域踏査など数多くの海外遠征に参加した経験を生かし、隊のまとめ役を務める。現在は映像製作にかかわり、本遠征のビデオ撮影を担当、新たな遠征報告の道を照らした。			
隊長 渉外 会計	野口伸也 血液型：O パスポート番号：M10120000	大阪府吹上区吹上 06-6604-0000 06-6604-0000 関西大学文学部3回生 (M1000-1000) 探検部38代	
※本隊の発起人。1回生のころからこの計画を遂行して来た。中学・高校と柔道部に所属し、高校では主将を務めた。中央アジアの歴史と風土に興味を示し、生涯をこの方面に捧げる熱意を秘めている。無類の酒好きである。彼女イナイ暦21年を迎えた。			
副隊長 装備	田口学 (マボノ*) 血液型：A パスポート番号：M10120000	大阪府吹上区吹上 06-6604-0000 06-6604-0000 関西大学社会学部3回生 (M1000-017) 探検部38代	
※38代目探検部主将。高校時代は野球部のキャプテン・エースで4番を務め、甲子園を志していた。知勇ともに優れ情熱的。隊の宰相役を見事に務めた。また、ラフトボートの腕に優れ、'94年度リバーベンチャーアメリカ大会出場の実績を持つ。 (*マボノ:ウイグル語で「さん」にあたる語が「アホ」。田口はウイグル人達にマボ「アホ」、マボノと称されていた。			
撮影 食糧	香川 史朗 血液型：A パスポート番号：M10120000	大阪府吹上区吹上 06-6604-0000 06-6604-0000 関西大学法学部3回生 (M1000-1000) 探検部38代	
※陸上部出身で隊内随一の体力と長身を誇るナイス・ガイ。努力家で真面目。写真の腕前は今回の遠征で証明された。以後とも学生生活を探検撮影に捧げると本人は熱く語っている。隊で一番マメな性格ゆえに、38代目総務の職をまかされることになった。			
医療 会計	本多裕美子 血液型：A パスポート番号：M10000000	大阪府吹上区吹上 06-6604-0000 06-6604-0000 関西大学文学部 探検部39代	
※遠征隊唯一の女性であり、最年少。「テニス部出身の普通の女の子」と彼女は言うが遠征が終わった時点で言わせてもらえば、どう控えめに考えても普通ではない。男性隊員を凌駕する根性の持ち主。遠征中は、最もモラルある行動を取った人間であった。			

● 中国隊隊員

[中国科学院新疆生物土壤沙漠研究所]

役職	名前	説明	
横断隊隊長 日本語通訳	段剛 (37歳) 研究所項目事務 エンジニア(項目官員)	※大きな野外考察探検事業に参加経験が豊富。日中合作ケリヤ河・ニヤ河砂漠探検隊を組織・参加したこともあり、日本語にも明るい。新疆の歴史・地理に大きな興味と情熱を持つ。非常にユーモアに溢れ、温和な性格。また、中華料理の腕前は隊内随一であり、彼が参加している時は毎晩夕食が素晴らしいものであった。	
無線担当	趙元杰 (32歳) 助観研究員	※北理学修士。地観学考察・科学考察隊などに多く参加した経験を持ち、元中国婦人砂漠探検の科学顧問を務めた経歴がある。砂漠の環境知識が豊富で、無線連絡・中国側GPS担当・地図への行程記録など隊の最も重要なセクションを見事に務めた。いつも真っ赤なジャージに身を包むハンサム・ガイ。現在一児の父。	
専門員	劉文江 (28歳) 助観研究員	※外事仕事を担当。愉快できさくな性格。最も英語が達者で、しょっちゅう冗談を言っただけを笑わせていた。体型の割には隊内で最も歩くスピードが早く、あっという間に見えなくなることも、しばしばであった。中国葡萄酒を好み、日本隊と杯を酌み交わしたことも一度や二度ではなかった。マカロニが苦手。	
専門員	黄強 (29歳)	※地観学研究仕事を担当し、慣れない野口の地学サンプル収集を細部にわたって注意してくれた。年齢の割に非常に冷静沈着。かなり年上に見えていたが、髭を剃るといきなり若々しくなったりする。カシュガル生まれのカシュガル育ち。根っからの新疆人のインテリである。	
応援隊隊長	欧咏 (43歳) 研究所国際交流中心 高級エンジニア 国際合作処付処長	※中国隊の実際の指導者。国際合作項目の組織・管理、野外探検・考察などの分野を得意とする。強力なリーダーシップで他の中国隊を見事に指揮した。何日かごとに来る補給隊には必ず加わっていて、その度に本多を我が娘のように可愛がっていた。キレ者である。	

【ウイグル人】

役職	名前	説明	
案内人	エメル [エメル=イスマイル] (50歳)	※イギリスの横断隊にも参加した、メルキトのタワキスキ村の砂漠案内人。村では農民をしている。ウイグル語しか、話せないが、ウイグル文字を書くことが出来る。ション・コネリーに似ていて、陽気できさく。踏破中でも、気が向くと歌を歌い出し、我々に砂漠の情緒を味合わせてくれた。	
案内人	ケリム [ケリム=エメス] (40歳)	※人民帽をかぶった、エメルと同じ村の農民の砂漠案内人。中国語を話す事が出来る(漢字は読めないが)。かなりインテリのように、話し口もおとなしく、紳士。エメルのように歌を歌ったりはしない。駱駝の扱いはいささか乱暴な点が多く見られた。	
駱駝使い	アザホン [アブラット=メメッド] (40歳)	※自然に人々に笑いをもたらしてくれる、駱駝使い。実は家はホータンでも有数の金持ちで、保有する駱駝は莫大な量にのぼるといふ。しかし、その飾らない素振りと日本隊をはるかに凌駕する食欲とで、隊内において非常に愛されていた。子沢山である。	

【馬各馬它達】 (全9頭)

1. ドゥンルカ(25) : 最年長。駱駝の長老格らしい。美しい鼻緒をしていて、唇を常にダランとしているので、最も識別しやすかった。時折粘着力のあるヨダレをダラリと垂らす。
2. カルグァ(2) : 最年少の人なつこい駱駝。元気で性格は明るい。
3. カルクェス(6) : 少し黒みのかかった力強い駱駝。
4. オグジャッパ(2) : たてがみの美しい立派な駱駝だが、気が弱く、水飲み争いでは常に負けていた。
5. ゲテポカ(6) : 無類のスイカの皮好きなので「スイカ」と呼ばれた、よく吠える狂暴な駱駝。
6. ケキマカタン(2) : ひょろりとしているが、決して人の手から餌をもらわない誇り高い駱駝。静かだが、実はゲテポカ以上の狂暴さを持つ。「デルモ」と呼ばれていた。
7. アフタクマス(4) : 赤っぽい白毛の駱駝。「悪徳丸」と呼ばれる。
8. ウルゲデ(10) : 黒くて巨大な体躯の駱駝。
9. アフサーデル(6) : 純白の美しい駱駝。首に大きなベルをぶら下げている。